



Professional Mixing Controller

PMC-05ProSL

取扱説明書

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-05ProSL プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるよう、お願いいたします。

目次

ご使用上の注意	2
安全上のご注意	3
本機の特長	4
各部の名称と機能	4
トップパネルセクション	4
フロントパネルセクション	7
リアパネルセクション	7
ディレイ/サンプラーの基本的な使用方法	8
フェーダーユニットの交換	11
接 続 例	13
主 な 仕 様	13

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製のスプレーは使用しないで下さい。

修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年間保有します。この部品保有期間を修理可能な期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がつかないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け



分解禁止



指を挟まれないよう注意

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。
- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグを
コンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



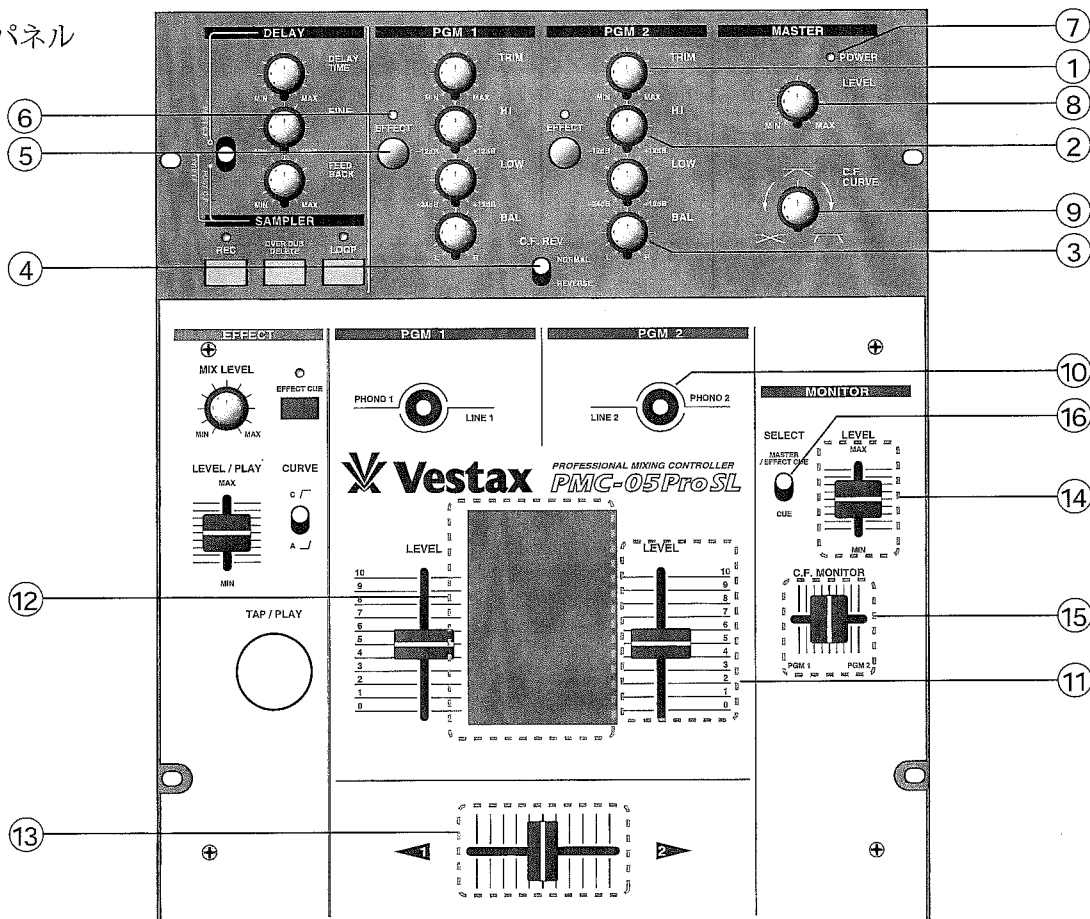
- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

- 本機には、サンプラー及びディレイ機能を搭載しています。各PGM及びMIC入力チャンネルに装備されたEFFECTスイッチを押す事により、他のエフェクターを接続せずに、好みの音楽ソースにディレイを効かせることや、またサンプルリングすることが可能となりました。
- サンプラー機能にはオーバーダビングを採用しています。サンプルリングされたフレーズに他のフレーズを重ねて録音することが可能です。これにより、ライブ時のDJプレイの幅が更に広がります。また、DJプレイやスクラッチの練習にも便利です。
- ダブルパネル構造により、スクラッチパフォーマンスの際の支障となるフロントパネル上のフェーダー周辺の取り付けビスや、パネルの溝を排除しました。プロDJの意見を反映したフェーダー配置とともに、高いパフォーマンス性を実現しています。
- スクラッチパフォーマンスの際に要となるクロスフェーダーには、VCA方式を採用しています。この方式は、クロスフェーダーそのものに音声信号を経由しないため長寿命、高音質を実現しました。
VCA方式:フォトカプラー(発光ダイオードの香料変化を音量変化に交換する素子)を使用し、フェーダーの位置の変化を電気的に検出します。従来方式と異なり、フェーダー自身に音声信号を通さないため音質の劣化がありません。
- インプットセレクトスイッチは、操作方向を縦、横、斜め45度毎に設定することが可能です。
- 各入力にHI、LOWの2バンドのイコライザーを装備しています。細かい音質補正が可能です。
- クロスフェーダーリバーススイッチを装備、瞬時にPGM-1、PGM-2を入れ替えることが可能です。
- トップパネル上のボリュームにより、クロスフェーダーのカーブ特性を変化させることができます。またインプットフェーダーは、フェーダーユニット上のスイッチによりカーブ特性を3段階に変化させることができます。
- ヘッドフォンモニターの切り替えスイッチを装備しています。これにより、入力されている信号と出力される信号を切り替えてモニターすることができます。MASTER LEVELボリュームを下げても出力音がモニターできますので、夜間練習する際に便利です。

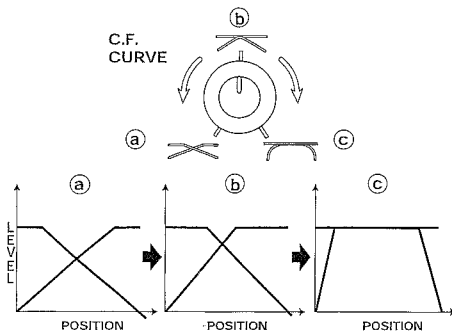
各部の名称と機能

トップパネル



ミキサー部

- ① **PGM TRIM** (プログラムトリム) ボリューム
各PGM(プログラム)チャンネルのPHONO INPUTジャック(39)、LINE INPUTジャック(38)に接続された機器の入力レベルを調節するボリュームです。通常、インプットフェーダー(11)を最大にしたとき、インプットレベルメーターが"0dB"の位置まで点灯するように設定して下さい。
- ② **PGM EQ** (プログラムイコライザー) ボリューム
各PGMチャンネルのPHONO INPUTジャック(39)、LINE INPUTジャック(38)に接続された機器の音質を調節するボリュームです。HI、LOWの2バンドの調節が可能です。
- ③ **PGM BALANCE** (プログラムバランス) ボリューム
各PGMチャンネルのL-Rバランスを調節するボリュームです。ターンテーブルのアンチスケーティングを強めに設定したときに生じる、L-Rバランスの不良を補正することもできます。
- ④ **C.F. REVERSE** (クロスフェーダーレバース) スイッチ
クロスフェーダーの左右を反転するスイッチです。"NORMAL"側に設定されているときは通常の機能となります。"REVERSE"側にスイッチを倒すとクロスフェーダーを左側に移動するに従いPHONO-2あるいはLINE-2に入力した信号が、右側に移動するに従いPHONO-1あるいはLINE-1に入力した信号が出力されるようになります。
- ⑤ **PGM EFFECT** (プログラムエフェクト) スイッチ
各PGMチャンネルの信号を内蔵のサンプラー/ディレイに送るスイッチです。押しとサンプラー/ディレイに信号が送られ、PGM EFFECTインジケータ(6)が点灯します。
- ⑥ **PGM EFFECT** (プログラムエフェクト) インジケータ
各PGMチャンネルのPGM EFFECTスイッチ(5)を押すと点灯します。
- ⑦ **POWER** (パワー) インジケータ
電源投入を知らせるインジケータです。ご使用前は、このインジケータが点灯していることをご確認下さい。
- ⑧ **MASTER LEVEL** (マスターレベル) ボリューム
リアパネルのOUTPUTジャック(40)から出力される信号のレベルを調節するボリュームです。
- ⑨ **C.F. CURVE** (クロスフェーダーカーブ) ボリューム
クロスフェーダーのカーブ特性を設定するボリュームです。



ボリュームを時計方向にまわすと ① → ② → ③ と変化します。

- ① …ロングミックス用です。CROSSFADERボリューム()を移動させると、ゆるやかに音量が変化しながら、PGM-1、PGM-2信号が入れ替わります。
- ② …①③の中間です。
- ③ …スクラッチ用です。CROSSFADERボリュームの音量の立ち上がりか最も急になります。

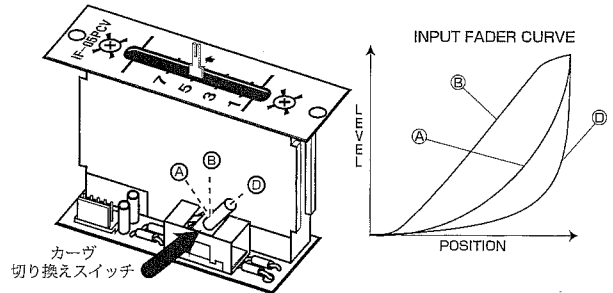
クロスフェーダーカーブ特性

- ⑩ **INPUT SELECT** (インプットセレクト) スイッチ
各PGMチャンネルに入力する信号(PHONO及びLINE)を選択するスイッチです。スイッチを切り替えることにより、PHONOインプットジャック(39)、LINEインプットジャック(38)に接続された機器のどちらかの信号を選択することができます。また、スイッチの取り付け角度を変更することが可能です。

注意

- ・取り付け角度の変更については、(11もしくは12)ページ<フェーダー・スイッチの交換>をお読み下さい。

- ⑪ **INPUT LEVEL** (インプットレベル) ボリューム
各PGMチャンネルの音量を調節するボリュームです。下図のようにカーブ特性を切り替えるスイッチがあります。下図のA・B・Dはグラフ中のA・B・Dに対応します。スイッチを切り替える際はトップパネルを取り外して(11)ページ<パネルの外し方参照>スイッチを操作して下さい。



注意

- ・インプットフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、別売りの交換用インプットフェーダーユニット『IF-05PCV』に交換して下さい。なお、交換は(11)ページ<フェーダーの交換>をご参照ください。

- ⑫ **INPUT LEVEL** (インプットレベル) メーター
各PGMチャンネルから出力される音量レベルを表示します。
- ⑬ **CROSS FADER** (クロスフェーダー) ボリューム
各PGMチャンネルから出力される音声信号のMIXバランスを調節するボリュームです。左側に移動するに従いPGM-1の音が、右側に移動するに従いPGM-2の音が、それぞれ出力されます。また、中央部では、両方の音が同時に出力されます。

注意

- ・クロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、別売りの交換用クロスフェーダーユニット『CF-PCV』に交換して下さい。なお、交換は(11)ページ<フェーダーの交換>をご参照ください。

- ⑭ **MONITOR LEVEL** (モニターレベル) ボリューム
PHONESジャック(36)に接続されたヘッドフォンの音量を調節するボリュームです。音量を上げすぎると耳を傷める恐れがありますのでご注意ください。
- ⑮ **C.F. MONITOR** (クロスフェーダーモニター) ボリューム
ヘッドフォンでモニターする信号を選択するボリュームです。CROSSFADERボリューム(13)と同様にツマミの位置に応じ、PGM-1及びPGM-2の信号が切り替わります。

注意

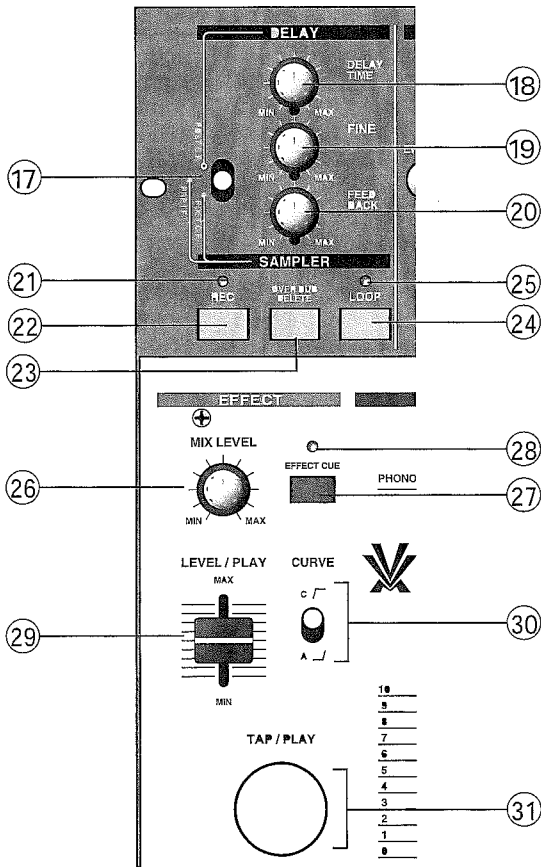
- ・C.F.REVERSEスイッチ(4)が"REVERSE"側に設定されていても、C.F.MONITORボリュームはREVERSEされません。

- ⑯ **MONITOR SELECT** (モニターセレクト) スイッチ
ヘッドフォンのモニター形式を切り替えるスイッチです。

MASTER/EFFECT CUE MIX CUEスイッチ(27)がオフの時、LINE OUTジャック(40)から出力される信号をモニターすることが出来ます。また、EFFECT CUEスイッチがオンの時、内蔵のサンプラー/ディレイから出力される信号のみモニターすることが出来ます。

CUE C.F. MONITORボリューム(15)で選択されたPGM-1もしくはPGM-2の信号をモニターすることが出来ます。C.F. MONITORが真中に設定されているときはPGM-1及びPGM-2の信号がモニター出来ます。

サンプラー/ディレイ部



- ①⑦ **SAMPLER/DELAY SELECT (サンプラー/ディレイセレクト)スイッチ**
機能をサンプラーもしくはディレイのいずれかに設定するスイッチです。またサンプラー側では、各PGMチャンネルの信号の取位置をPre I.F. (インプットフェーダーの前)もしくはPost C.F. (クロスフェーダーの後)のどちらかを同じスイッチで選択できます。

- ①⑧ **DELAY TIME (ディレイタイム) ボリューム**
ディレイ時間を大まかに (0.5msec~1450msec) 設定するボリュームです。TAP/PLAYスイッチ (31) でもディレイ時間の設定は可能です。最後に操作した方が優先されます。

注意

・SAMPLER/DELAY SELECTスイッチ (17) がDELAYモード以外に設定されている時は、動作しません。

- ①⑨ **FINE (ファイン) ボリューム**
ディレイ時間の微調整 (0msec~90msec) を行なうボリュームです。

注意

・SAMPLER/DELAY SELECTスイッチ (17) がDELAYモード以外に設定されている時は、動作しません。

- ②⑩ **FEEDBACK (フィードバック) ボリューム**
フィードバック量 (繰り返しの回数) を調節するボリュームです。左に回しきった状態で回数は1回となり、右に回すに従い回数は増加して行きます。

注意

・SAMPLER/DELAY SELECTスイッチ (17) がDELAYモード以外に設定されている時は、動作しません。

- ②⑪ **REC (レコーディング) スイッチ**
録音の停止及び開始を行なうスイッチです。録音中はRECインジケータ (22) が点灯します。録音後、LOOP再生中にこのRECスイッチを押すとオーバーダビングを開始します。録音時間は最大23.8秒ですが、11.9秒以上録音すると、その後オーバーダビングが出来なくなりますのでご注意ください。(11.9秒と23.8秒に近づくるとインジケータが点滅します。)

注意

・SAMPLER/DELAY SELECTスイッチ (17) がSAMPLERモード以外に設定されている時は、動作しません。

- ②⑫ **REC (レコーディング) インジケータ**
録音状態を知らせるインジケータです。録音時間が8.9秒を過ぎると、インジケータが点滅を開始し、オーバーダビングの限界時間11.9秒に近づきつつあることを警告します。また、引き続き録音した場合は、20.8秒を過ぎると、インジケータが再び点滅を開始し、最長録音時間の23.8秒に近づきつつあることを警告します。

- ②⑬ **OVERDUB DELETE (オーバーダビングデリート) スイッチ**
オーバーダビングされたフレーズを削除するスイッチです。LOOP再生中にこのOVERDUB DELETEスイッチを押すと、最初に録音されたフレーズのみを残し、オーバーダビングされたフレーズを削除します。

- ②⑭ **LOOP (ループ) スイッチ**
ループ再生モードのオン/オフ及びループ再生を停止するスイッチです。スイッチを押すとループ再生モードに設定され、LOOPインジケータ (25) が点灯します。ループ再生中にこのLOOPスイッチを押すとループ再生が停止し、ループ再生待機状態となります。(この時、ループ再生モードは解除されていません。) ループ再生待機中にこのLOOPスイッチを押すとループ再生モードが解除されます。

- ②⑮ **LOOP (ループ) インジケータ**
ループ再生モードのオン/オフを知らせるインジケータです。ループ再生モードがオンの時、インジケータが点灯します。

- ②⑯ **MIX (ミックス) ボリューム**
サンプラー/ディレイの出力レベルを調節するボリュームです。ヘッドフォンでサンプラー/ディレイから出力される信号をモニターする場合は、このボリュームを絞ってからモニターして下さい。

- ②⑰ **EFFECT CUE (エフェクトキュー) スイッチ**
ヘッドフォンでサンプラー/ディレイの出力音をモニターするスイッチです。スイッチを押して、MONITOR SELECTスイッチ (16) をMASTER/EFFECT CUE側に切り替えるとサンプラー/ディレイから出力される信号をモニターすることが出来ます。スイッチがオンの時、EFFECT CUEインジケータ (28) が点灯します。

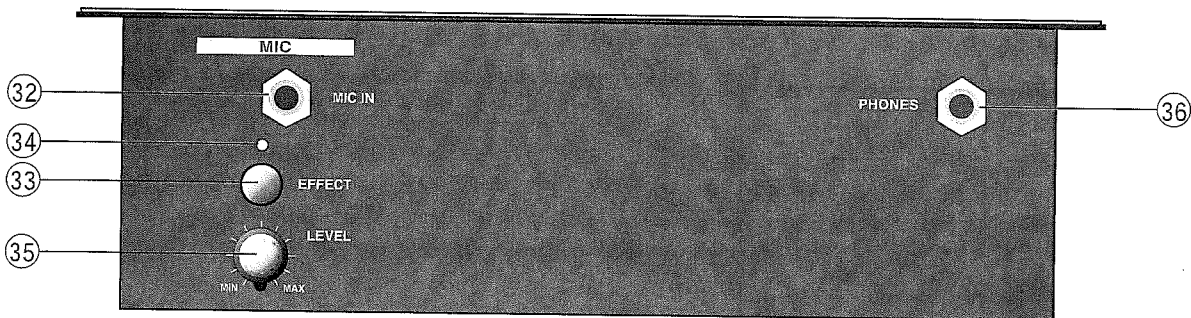
- ②⑱ **EFFECT CUE (エフェクトキュー) インジケータ**
EFFECT CUEスイッチ (29) のオン/オフ状態を知らせるインジケータです。MIX CUEスイッチがオンの時、点灯します。

- ②⑲ **LEVEL/PLAY (レベル/プレイ) ボリューム**
サンプラー/ディレイの音量を調節するボリュームです。SAMPLERモードの時は、録音されたフレーズの再生開始及び停止も同時に行ないます。ボリュームを上げるとそのボリュームの目盛りに応じた音量で再生され、下げると再生が停止します。

- ③① **CURVE (カーブ) スイッチ**
LEVEL/PLAYボリューム (29) の音量カーブ特性を設定するスイッチです。"C"側の時は音の立ち上がりが早く、"A"側の時は音の立ち上がりが緩やかになります。DELAYモードの時とSAMPLERモードの時を使い分けると便利です。

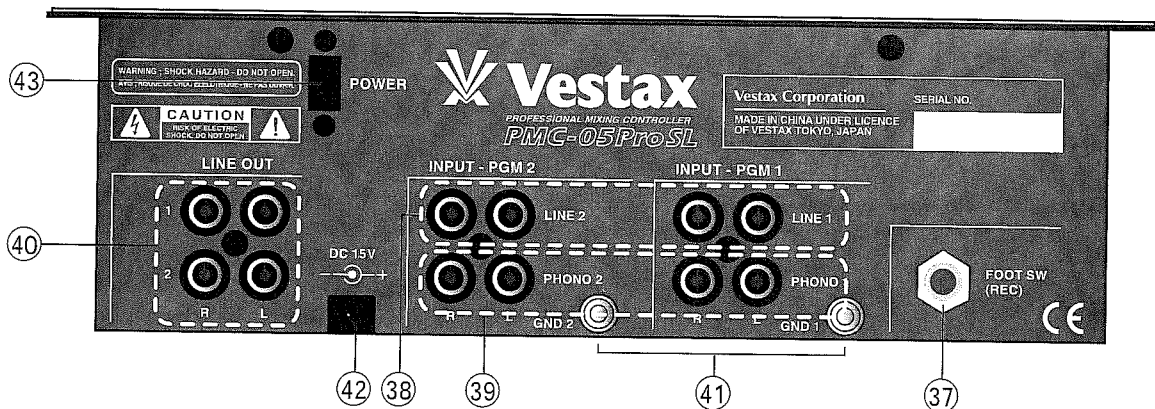
- ③② **TAP (タップ) スイッチ**
DELAYモード時は、ディレイ時間の設定を行なうスイッチになり、設定されたディレイ時間に合わせてボタンが点滅します。SAMPLERモードの時は、再生開始を行なうスイッチになり、再生されている間、ボタンが点灯します。

フロントパネル



- ③② **MIC** (マイク) インputジャック
MICを接続する入力端子です。
- ③③ **MIC EFFECT** (マイクエフェクト) スイッチ
MICチャンネルの信号を内蔵のサンプラー-ディレイに送るスイッチです。押しとサンプラー-ディレイに信号が送られ、MIC EFFECT SEND-インジケータ (34) が点灯します。
- ③④ **MIC EFFECT** (マイクエフェクト) インジケータ
MICチャンネルのMIC EFFECTスイッチ (33) を押しすと点灯します。
- ③⑤ **MIC LEVEL** (マイクレベル) ボリューム
MICインputジャック (32) に接続されたマイクの音量を調節するボリュームです。
- ③⑥ **PHONES** (ヘッドフォン) ジャック
ヘッドフォン専用の出力端子です。ステレオタイプのヘッドフォンを接続して下さい。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用ください。

リアパネル



- ③⑦ **FOOT** (フット) ジャック
フットペダルを接続する端子です。フットペダルがRECスイッチ (21) と同様の役割を果たします。スクラッチプレイを録音する際、両手がふさがっている時に便利です。押ししている間だけメイク (ショート) するタイプのフットペダルをご使用下さい。
- ③⑧ **LINE** (ライン) インputジャック
CDプレイヤー、CD-R/RWプレイヤー、MDプレイヤー、TAPEデッキ、DAT、VTR、DVDプレイヤー等の機器の音声出力端子と接続する端子です。RCAピンプラグ (アンバランス入力) に対応しています。
- ③⑨ **PHONO** (フォノ) インputジャック
ターンテーブルのフォノ出力端子と接続する端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続して下さい。なお、MCタイプのカートリッジをご使用の場合は別売のヘッドアンプが必要になります。
- ④⑩ **MASTER OUT** (マスターアウト) ジャック
マスターのライン出力端子です。アンプなどに接続して下さい。(オーディオ用アンプの場合、LINEやAUXの表記がある入力ジャックに接続して下さい。)
- ④① **GND** (グラウンド) ターミナル
ターンテーブルのアース線を接続する端子です。ノイズやハムを減少させますのでターンテーブルを使用の際は必ず接続して下さい。
- ④② **POWER** (パワー) ジャック
電源アダプターを接続する端子です。専用のアダプター (DC-15A) を接続してください。
- ④③ **POWER** (パワー) スイッチ
電源のオン/オフスイッチです。電源が投入されるとフロントパネル上のPOWERインジケータ (7) が点灯します。

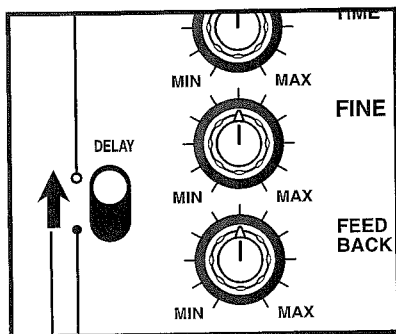
注意

このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。電源がONになる際にノイズが入ることがあり、パワーアンプ、スピーカーに悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合破損する恐れがありますので、ご注意ください。

ディレイ/サンプラーの基本的な使用方法

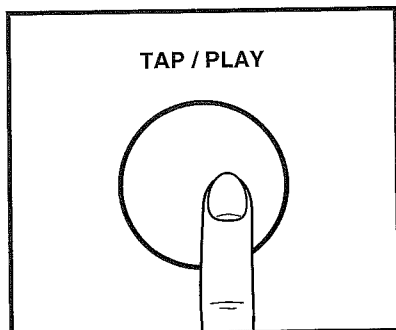
ディレイ

操作前に本体もしくは接続しているスピーカーから音が出ていることを確認して下さい。



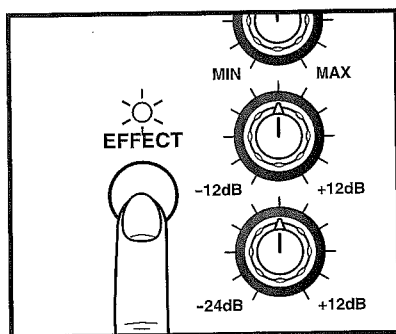
1. DELAYモードに設定します。

SAMPLER/DELAY SELECTスイッチ(17)を”DELAY”側に設定します。



2. ディレイ時間を設定します。

ヘッドフォンでディレイをかけたい曲をモニターしながら、テンポに合わせて繰り返しTAPスイッチを押します。

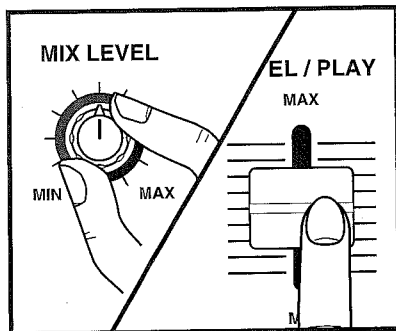


3. エフェクトをかけるチャンネルを選択します。

ディレイをかけたい音楽ソースが入力されているチャンネル (PGM-1,2) のPGM EFFECT SW (5) を押してPGM EFFECTインジケータが点灯していることを確認します。

また、このときEFFECT CUEスイッチをオンにしてヘッドフォンでディレイのテンポが合っていることを確認します。

このとき、LEVEL/PLAYボリュームを上げていないとヘッドフォンに音が送られないのでご注意ください。

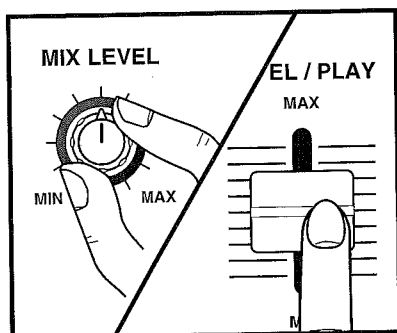
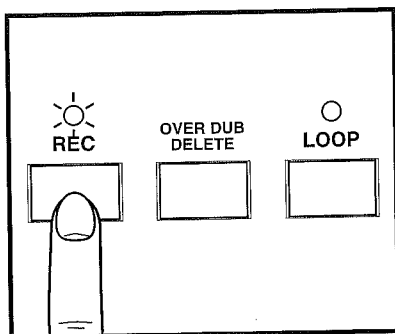
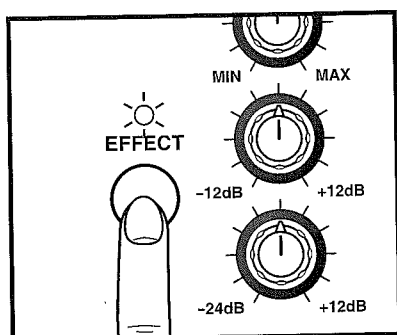
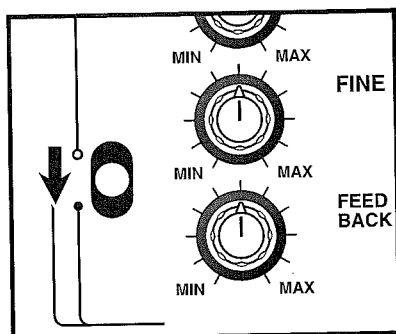


4. エフェクトをかけます。

MIXボリューム(26)を上げながら、原音(元々、スピーカーから出ている音)とエフェクト音をMIXさせます。この時、CURVEスイッチ(30)を”A”側に切り替えておくと徐々にエフェクト音をMIXすることが出来ます。

サンプラー

通常の録音



1. SAMPLERモードに設定します。

SAMPLER DELAY SELECT スイッチ(17)をPRE I.F.またはPOST C.F.に設定します。

PRE I.F. ではインプットフェーダーを通過する前の音声信号
POST C.F.ではクロスフェーダーを通過してミックスされた後の信号をサンプリングすることができます。場合によって使い分けことができます。

2. 録音するチャンネルを選択します。

録音したい音楽が入力されているチャンネル(PGM-1もしくは2)のPGM EFFECTスイッチ(5)を押して、PGM EFFECTインジケータ(6)が点灯していることを確認します。

3. 録音します。

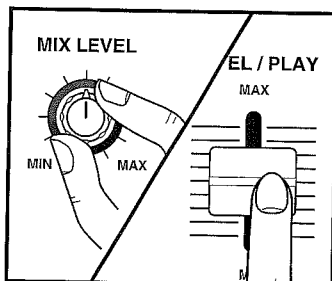
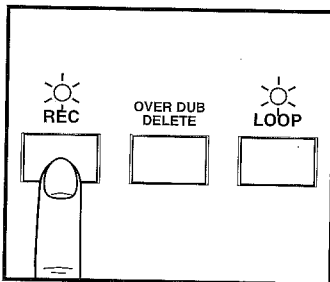
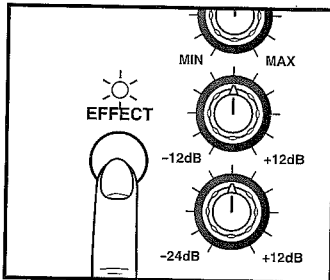
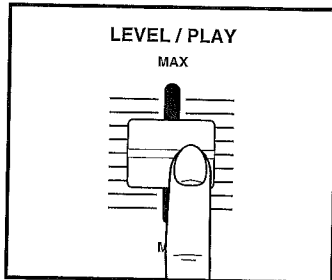
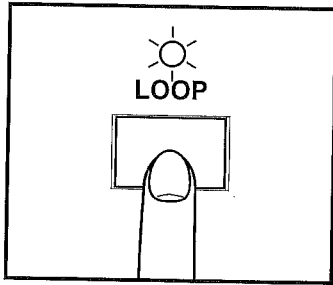
ヘッドフォンもしくはスピーカーからの出力音を聞きながらRECスイッチ(22)を押し、録音を開始します。RECスイッチを再度押しと録音を停止します。(この時、11.9秒を超えて録音した場合、更に違う音源を重ねて録音するオーバーダビングは出来ませんので、ご注意ください。)オーバーダビングの限界時間(11.9秒)が近づくとLEDが点滅して警告します。

また、11.9秒を超えて録音し録音時間の限界(23.8秒)が近づくと再度点滅して警告します。

4. 再生します。

MIXボリューム(26)を上げた状態で、LEVEL/PLAYボリューム(29)を上げます。上げると同時に再生が開始します。ループ再生したい場合は、LOOPスイッチ(24)を押して、LOOPインジケータ(25)を点灯させてから行なって下さい。

オーバーダビング



1. ループ再生モードをオンにします。

LOOPスイッチ(24)を押し、ループ再生モードに設定します。(この時、LOOPインジケータが点灯していることを確認して下さい。)

2. ループ再生を開始します。

LEVEL/PLAYボリューム(29)を上げて、再生を開始します。

注意

・この時、MIXボリューム(26)のレベルが上がっているとスピーカーからも音が出てしまうのでご注意ください。

EFFECT CUE スイッチをオンにしてヘッドフォンでループ再生をモニターします。

3. 録音するチャンネルを選択します。

録音したい音楽が入力されているチャンネル(PGM-1、2もしくはMIC)のEFFECTスイッチ(5もしくは33)を押し、EFFECTインジケータ(6もしくは34)が点灯していることを確認します。

4. 重ねて録音します。(オーバーダビング)

ループ再生しているフレーズに合わせて、RECスイッチ(22)を押し、オーバーダビングを開始します。RECスイッチを再度押し、オーバーダビングを停止します。(スクラッチプレイを録音する際、両手がふさがっている場合は、FOOTジャック(37)にフットペダルを接続して、RECスイッチとして使用すると便利です。)この時、最初に録音した長さを超えて録音すると超えた部分がループの頭を上書きされてしまうのでご注意ください。失敗した場合はOVERDUB DELETEボタンを押すと一番最初の録音した状態に戻ります。オーバーダビングした2回目以降の録音は全て消去されます。

5. 再生します。

MIXボリューム(26)を上げた状態で、LEVEL/PLAYボリューム(29)を上げます。上げると同時に再生が開始します。

フェーダーユニットの交換

フェーダーユニットの交換

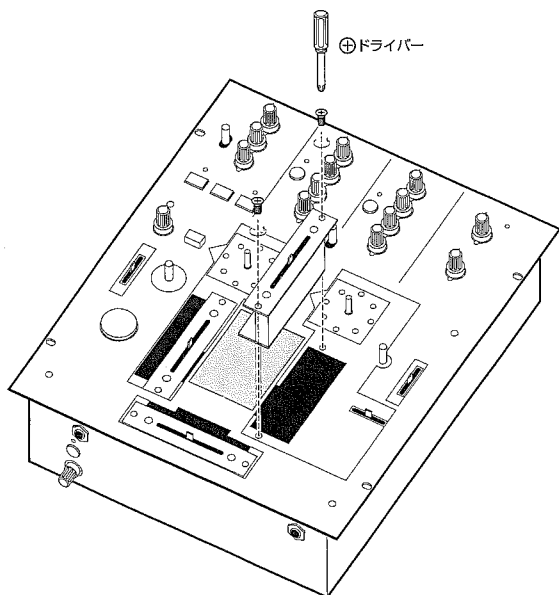
■ トップパネルの外し方

- ① 図aのようにINPUT LEVELボリューム(11)、CROSS FADERボリューム(13)、MONITOR LEVELボリューム(14)、C.F. MONITORボリューム(15)、LEVEL/PLAYボリューム(29)のつまみを取り外して下さい。(計6個)
- ② トップパネルを固定している4点のネジを、図aのようにプラスドライバー(サイズ:1番)を使用し、外して下さい。

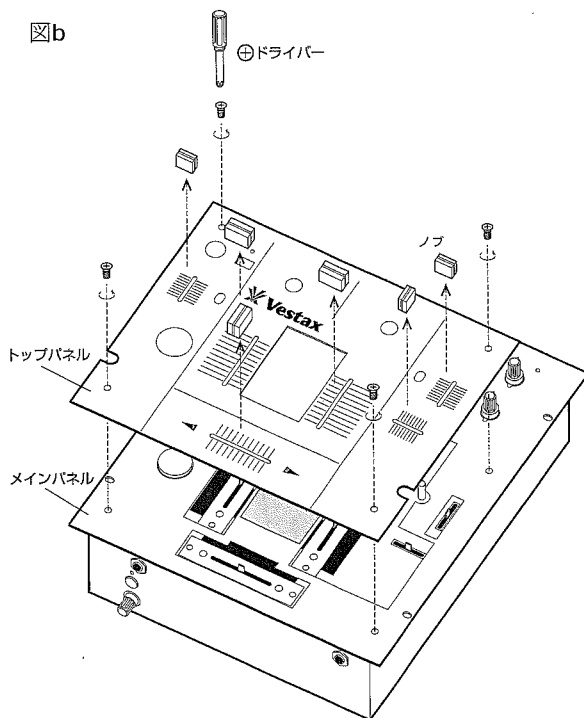
■ クロスフェーダー及びインプットフェーダーの交換

- ① トップパネルを外した後、図bのように、フェーダーパネルを固定している2点のネジを外し、フェーダーユニットごと上へ持ち上げて下さい。
- ② 図c、dのように、フェーダーユニットと本体側を接続しているコネクタを引っ張って取り外して下さい。(この際、コネクタのピンを曲げないように注意して下さい)
- ③ 新しいフェーダーユニットと交換し、②→①の手順で元に戻して下さい。

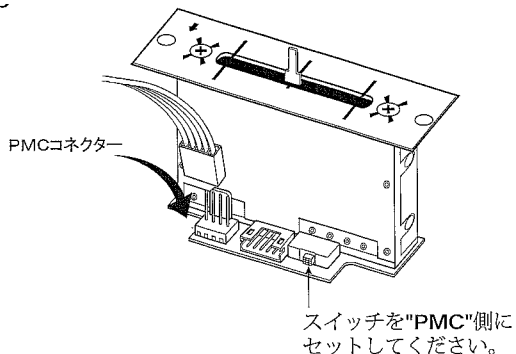
図a



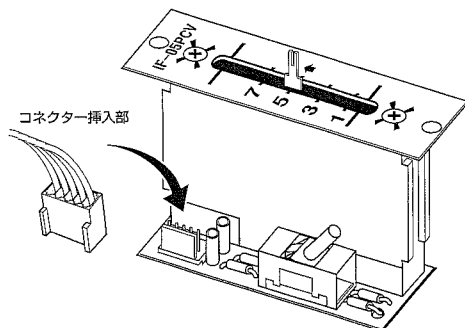
図b



図c



図d

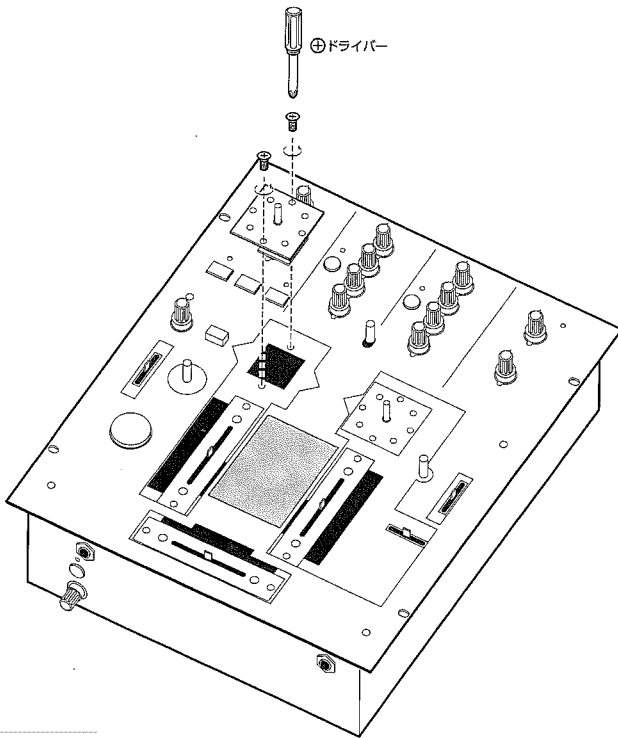


■スイッチの交換

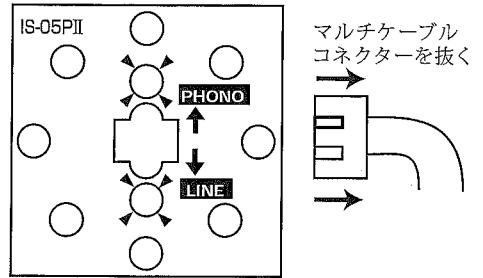
- ① トップパネルを外した後、図eのようにスイッチパネルを固定している2点のネジを外し、スイッチユニットごと上へ持ち上げて下さい。
- ② 図fのように、スイッチユニットと本体側を接続しているコネクタを引っ張って取り外して下さい。(この際、コネクタのピンを曲げないように注意して下さい)
- ③ 新しいスイッチユニットと交換し、②→①の手順で元に戻して下さい。

注意
ドライバーをご使用する際に、ドライバーのサイズが合わない
とネジを破損させてしまう恐れがありますので、サイズの
合ったものをご使用下さい。

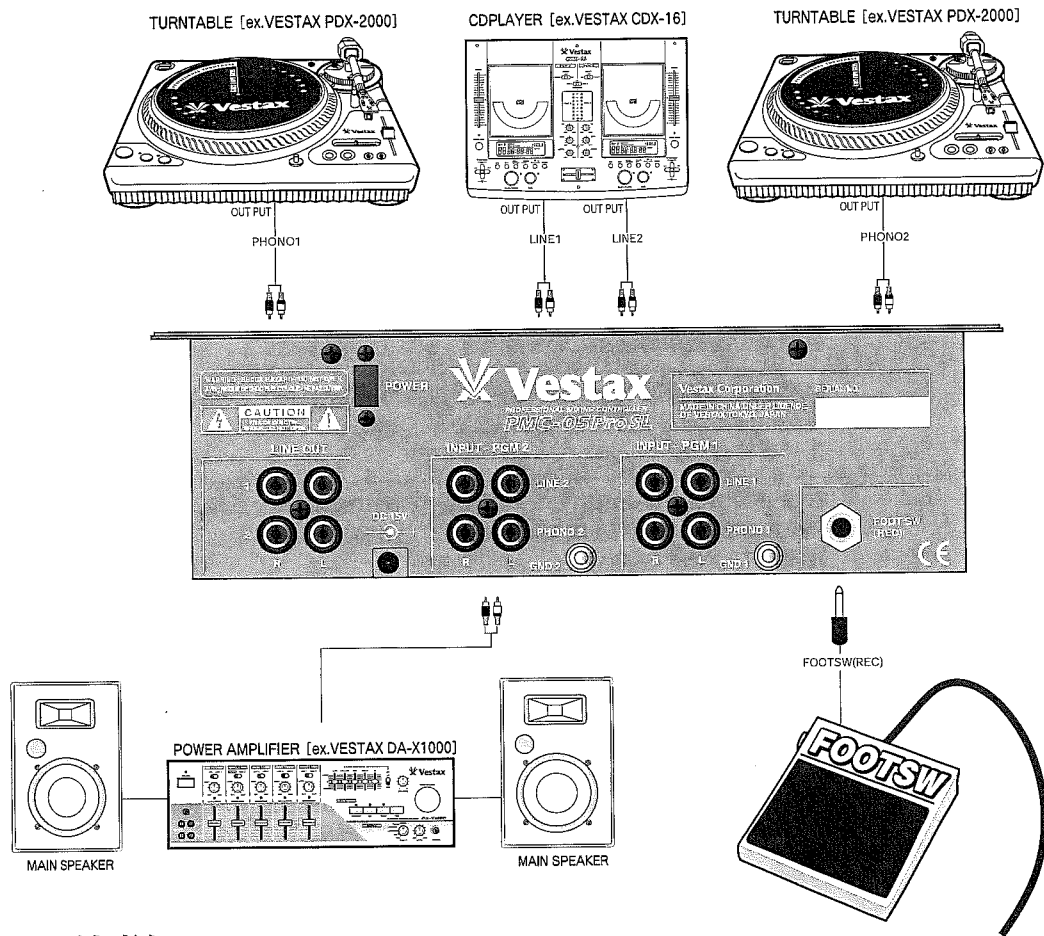
図e



図f



接続例



主な仕様

入力部	MIC IN: (Φ6.3 PHONE / UNBLANCED dBv)	-50dBv	インピーダンス 3kΩ
	PHONO IN: PGM-1~2 (RCA PIN / UNBLANCED dBv)	-45dBv	45kΩ
	LINE IN: PGM-1~2 (RCA PIN / UNBLANCED dBv)	-10dBv	10kΩ
出力部	MASTER OUT	定格出力レベル -10dBv	インピーダンス 220Ω
	音質補正	EQUALIZER :HI	10kHz(±12dB) シェルビングタイプ
:LOW		60Hz(+12,-24dB) ピーキングタイプ	
性能	周波数特性	:LINE	20Hz~20kHz ±1dB
	S/N 比	:LINE	80dB以上
	クロストーク	:C.F.	100dB以上
	THD		0.01%以下
その他	使用電源	DC-15A 500mA (付属DCアダプター)	
	消費電力	約10W	
	重量	約4kg	
	寸法(W×H×D)	(W×H×D) 103×320×262 (mm)	

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ/オーディオミキサーのAUX INまたはLINE INに接続していませんか。	目的のソースがどこに接続されているか確認し、INPUT SELECTスイッチの設定をやり直す。
	各機器の接続が間違っていないですか。	正しく接続する。
	MASTER LEVEL ヴォリュームや、各音量ヴォリューム調整がMINになっていませんか。	各音量ヴォリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレイヤーの出力ケーブルをPMC05ProSL本体のLINE INPUTに接続していませんか。	PMC05ProSL本体のPHONO INPUTに接続し直す。
	レコードプレイヤーのカートリッジに、MCタイプを使用していませんか。	カートリッジをMMタイプに交換する。
音がひずむ。	PMC05ProSLの出力を、プリメインアンプのPHONO入力に接続していませんか。	プリメインアンプのAUX等の入力に接続し直す。
	出力レベル高いCD、MDプレイヤー等を接続していませんか。	PMC05ProSLのTRIM ヴォリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはパス音)がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気機具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
	レコードプレイヤーのアース線がはずれていませんか。	アース線をPMC05ProSL本体のGNDターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗していませんか。	新品のクロスフェーダーに交換する。(別売の交換用クロスフェーダーユニットCF-PCVをご購入ください。)

保証とアフターサービス

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

— 保証期間 —
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ちり6年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ () —

